

今年はいぬ

戌

年です



メッケ犬をかたどった「滅怪犬山車」

広報つるおか 平成30年1月号

【平成30年1月1日発行】

活力にあふれた一年となりますように

犬は私たちにとって最も身近な動物の一つです。狩猟生活を送っていた太古から生活をともにしてきました。

さて、鶴岡で犬といえば「大山犬祭り」を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。梶尾神社の例祭として三百年以上もの昔から続いているこの祭りは、ある言い伝えに由来します。

その昔、梶尾神社の裏山に化け物が棲みついていました。毎年祭りの日に美しい娘を差し出さなければ田畑を荒らすというので、村人たちは苦しんでいました。ある年、このことを聞いた一人の修験者が、祭りの夜に梶尾神社の天井に隠れてのぞいていると、二人の大入道が現れ、「丹波の国のメッケ犬にこのことは聞かせまいぞ」と繰り返しながら娘を連れて消えました。修験者は大入道を退治するため、丹波の国へ行きメッケ犬を探し出し、祭りの日、娘の代わりにいつもの通りお宮に供えました。大入道がかごの戸を開けた途端、一声高くほえ飛び掛かるメッケ犬。激戦の末に大入道を退治しましたが、自分も力尽きて倒れてしまいました。

以来、そのことに感謝した村人によってメッケ犬は梶尾神社のお前立ちとなり、毎年の祭りでは「犬曳」や供

えた娘にふんした「仮女房」、からぐり山車などの行列が町を練り歩くことから、犬祭りと呼ばれるようになったのです。

現代も警察犬や災害救助犬としての勇敢さを発揮している犬。さらには人間に寄り添う優しさと賢さも兼ね備え、盲導犬や介助犬として活躍の場を広げています。また、家庭で暮らしている犬は家族の一員として私たちの生活に潤いと癒しを与えてくれています。

ちなみに、現在鶴岡市に登録されている犬の数は三千七百四十一頭で、単純に世帯数（四万八千七百三十七世帯）を頭数で割ると、約十三世帯に一世帯が犬とともに暮らしていることとなります。一番人気の名前は「モモ」。

十二年前は「コロ」が一位でしたが、時代とともに犬の名付けの流行も移り変わっているようです。

はるか昔から私たちが人間を支え、現在も様々な分野で手助けしてくれている犬。そんな犬に感謝しつつ、多方面で活躍する犬にあやかっ、私たちも様々な場で自分の力を発揮する一年にしたいものですね。

今年が皆さんにとって活力にあふれた年でありませうように。

犬の名前ベスト10

鶴岡市に登録されている犬の名前のランキングを紹介します。

1位	モモ	93頭	6位	サクラ	56頭
2位	チョコ	76頭	7位	レオ	47頭
3位	ココ	65頭	8位	モコ	38頭
4位	マロン	62頭	9位	ソラ	37頭
5位	ハナ	58頭	10位	ナナ	35頭

— 表紙 —

僕・私の新年の抱負

成年生まれの小学生たちに新年の抱負を発表してもらいました。

270

VEGETABLE OIL INK

環境に配慮し古紙再生紙と植物油インキを使用しています